

木下川淨光（小幡）某師如來開帳○月廿二日より平井村燈明寺にて成田不動
 寺開帳○四月朔日より淺草報恩寺親雲上人達物を托せしむ○月日より
 淺草寺町正福院柳福花開帳○月日より回向院にて甲辰若光寺跡院如
 來院（本願寺）佛開帳○系於本満寺祖師谷中妙法寺にて開帳○寺舎校
 園（本願寺）七面大改称開帳○大師河原平回寺大師開帳○福乳山聖天宮（本願寺）并
 帳○淺草寺町（本願寺）五之依渡塚系振中寺祖師開帳○新嘉八幡宮
 開帳○月日朔日より湯島社地にて後文子燈規開帳○月日より西苑
 寺八幡宮にて夏加茂郡最勝院釈迦如來開帳○淺草寺内正福
 院にて豫念永谷貞昌院天満宮開帳○谷中妙法寺不動寺開帳
 ○不忍寺才丈にて常陸水戸玉里妙法寺不動寺開帳○六月三日
 詩人益田雀樓平（本願寺）名伯隣本町丁目め美多某店のある一あり
 白石の門人ありく一附とある ○八月廿日

荷田（本願寺）在満東於（本願寺）平（本願寺）早（本願寺）才林東に淺草寺令請ふ小藝以男所凡 ○九月晦日佛人
 小沢卜（本願寺）尺平（本願寺）後（本願寺）名藝於（本願寺）藝以（本願寺） ○十月十日佛師市野光業平（本願寺）字子暉本寺教中
 小沢（本願寺）丁の坊より ○十月十日佛師市野光業平（本願寺）字子暉本寺教中
 ○若菜（本願寺）女藝者といふ所の今年より始る 扇巻の再仙といふ所の始ありまより進ん
 出東より一より後い昔物浴あり
 ○再訂江戸惣席子名所大全持行（本願寺）真村玉華編 ○南向茶話字本成（本願寺）酒井氏
 七冊 江戸地理沿革の調査あり昭和二年の
 逸考を合し一部あり

宝曆二年壬申

正月四日物表家丹羽正伯平（本願寺）丸山本物 ○二月二日より三圍稲花明神開帳
 ○二月廿二日より中の如去輪寺聖徳太子宮帳 ○二月廿五日天満宮八百又
 十年新忌 ○月日より湯島天満宮翻町平河天満宮 小石川半天社（本願寺）兼鴨
 小系町天満宮開帳 飛戸天満宮へ今年社建立成て二月十九日より廿五日まで
 開帳 ○二月廿八日より同是不動寺開帳 ○三月朔日より湯島社地にて伊豆

八丈島為朝明神開帳○四月朔日より飛戸新嶽山檀現業平天神おんたて
 吾妻森吾妻檀現おんたて飛戸新門院おんたて正親者木母寺梅石の古本を文殊并飛
 戸竜眼の中嶽檀現林明宮おんたて右佐の自坊より開帳あり○四月朔日より
 日向院より系知恩寺山光大師刹おんたて名号開帳○同日より半辺京町妙山寺
 あり房及小嶽誕生寺おんたて祖師開帳○九山寺の祖師谷中本寺より祖師
 開帳○四月より麻布光雲寺より大師河原清宝院地苑并おんたて開帳○四月より
 目黒寺福院誕生八幡宮開帳○五月津川二十万堂重修○六月廿日
 池の端砂地おんたての系屋六十九軒より外家敷地を引拂せり
 ○七月初日より湯島社地下野那須野東漢寺おんたて誕生石化皮野おんたて龍音開帳
 ○同日より日向院より武州羽生不動が長村惣敷寺おんたて不動寺八丈島子開帳
 ○七月十六日儒師中西淡淵おんたて卒年二十名維章孫号七年○同月十日倭文子卒年
上より北中階飛虎不華

弓丁伊勢屋平右衛門の娘よりそまの間の門おんたて
 入て園學和方小名あり源河有権者不華以
 餘りの長サ之天除生形方を知りおんたて八月二日夜永代橋の北の方小
 浪声あり何とも知れずおんたて○七月護持院大破又付江所おんたて動化を尋る
 ○八月十二日山縣周南卒年六才孫少助○寺井土常光おんたて引く後
 明和二年松秀寺と改称仍上人痛あり○十二月流球人來獨おんたて
 宝曆三年癸酉
 正月四日六日八日大雪九日十七日十八日為廿二日雪廿四日大雪廿日由二月朔日
 二日三日六日九日十日十二日十三日由十六日地震十七日由十九日大雪廿日由廿七
 廿三日廿八日廿九日廿日由三月三日大風為曉七時より雷雨大雪降六時晴其氣
 候如北おんたて○二月初日より約辺目赤不動寺開帳○同十六日より護國寺おんたて
 甲州方力村帰命院信玄寺おんたて中寺跡院如東開帳○三月十六日甲州身延山祖師

深根子付江戸到着の日近ひの人殺品川より日本橋迄行く何町構中と申す
行儀懐あふさるる困憐憐中い 四月朔日より深川津にささく困帳

○三月十三日より九月晦日迄薩摩外祀遊みてわづか人散芝居身形宛本小会

小田部之○四月朔日より湯島社地にて武洲一の宮齋川時神困帳○同日

日向院にて武洲熊谷と深院如未蓮生坊形困帳○四月の朔迄新形と若草

大師新困帳○四月十日より深川永代にて奥初金花山弁才天大金 困帳 教団甲 細工の

蛸蛇と細工細工人八幡町 替甲あり 右岸帳跡に六月二日より十日迄本母とて困帳あり○四月より

九月より麻彦流形人多く死す○五月十二日儒師和峯亮居卒号親調又由主 麻布 寺堂 兼妻

○六月号舞妓芝居曾我孫今年より始る○六月廿一日儒師和月善法眼不角

卒九十二才 立羽千壽と玄集此の於城後ちぬ葬と ○七月朔日夕淺草を法するを武洲新の

口祖師困帳○同日より護國寺をわわ明者我中村兄送山祐信院深院如未

不勅号困帳○同日より八日 迄 菊場所茶師境角と大坂又五と南谷室泉

尾寺西三徳太子東岸 山親吉困帳 芝居の能りのを細い ○七月朔日より回

向院にて総及大宮法親善寺馬込親善善困帳○月十六日より淺草極楽にて

奥列衣川地務院子手親世を教善立住生像六天二分 甲胃 困帳○八月廿一日書家

平林惇信卒六十八才 号静安清日居林彦人并 本所中之妙深寺 兼也 ○十月谷中嶺寺寺堂 兼妻 本會式操咳

始む弟延平三五日身上人極るありけ年 上今三二回忌ふあつて巻末ふふひと

宝暦元年甲戌 二月間

正月廿日秋生叔達卒名親号北漢祖来の家が之 三田長吉寺お華以 ○国二月より元八幡宮本比佛

寺氷室明神困帳○日向院にて奥列會津高巖寺園光大師困帳○

国二月より元八幡宮内にて越後乙室寺大日如来御帳○国二月より

永代寺にて藤波山本比親世善困帳○横玉善親世善困帳什宝を詳せむ

○三月十六日儒師在子謙卒 名益益之楊 必福子小孫 ○四月朔日より南都西大寺秋迦

如來開帳 ○四月廿五日儒師谷口千秋卒 林多膳約也 瑞春子小孫 ○五月三日儒師去在庵直

卒 号琴茶凌雲 海禅子小孫也 ○六月廿五日能人櫻井史登卒 後の雲中者 幡隨玄院の子孫

和尙谷中三崎小芳賢山法住寺開創 其地ハ溝ハ浅ク 江戸中の男女地形の之

砂を運び日多くべしと成就す世俗新幡隨玄院といふ ○七月廿二日宗世儒師

羽川珍重卒 七年余才之此のそと東田子小孫ハ其佛曲亭の燕石雜誌ハ 辞世ハ中一ひのちり深も今一多し ○八月十五夜箇の

刻月蝕 皆既 ○八月十七日儒師在島正持卒 荒波山人と号シ 約ハ東昌子小孫 ○十月改曆鎮の宝曆

あつみといふ ○十月十六日儒師河日子深卒 号静無秋三八 麻布若菜子 ○十月廿二日能師

自在庵祇徳卒 押上大雲寺小孫也 辞世空さてりといふ一をゆあり

宝曆五年乙亥

二月朔日より谷中妙法寺に亘り至明玉法法花寺祖師開帳 ○二月より護國寺

あて常例 養正不動寺開帳 ○三月朔日より晦日迄牛山あて社改修後

成就の舟園之麻 山終不也 竹儀あり ○三月十三日下谷法書あて比上本門寺慈立祖師開

帳 ○同月十五日より十九日までは同院を以て明曆丁酉正月焼死弱死の輩百年

忌を越法あり ○三月十六日より深川永代寺を以て信州戸隠の神九頭社

控現 顯老 同帳 この時林本と高小種子及女の實あり千名をおきて 同日より浅草

淨念寺大文字利劍名号 是十二名様ニテ 法忍和尚の草 朝日如來開帳 ○茅場町茶師内にて

ねが大山の替藤子易親世音開帳 ○四月の以下より下総古河恩素橋の邊より

弘法大師の利益あて茶水涌出るといふ俗説を信し貴賤尊卑一この水と吞

む或男内(確)九月迄小彼地又旅舎千軒作せりといふ又石は文字現を石

より芽を出し流言して江戸市中の各路を巡るりのあり現を石

止む ○四月朔日より同院より小金東漸寺園光大師開帳 ○四月より

青山善光寺跡院如來園帳○江之上宮每才元園帳江ノ下ノ末清
多一○八月十五夜圓成時月蝕六分○冬末價貴踊之○十月儒師
飛智圭洲卒名洲清茶 寺院末葬

宝曆六年丙子 十一月至

正月十日新找本町より出火為座甚居敷焼○去年冬より米價次第
を揚也○二月初日より牛込久成る之上徳園植生郡妙宜より親慈生地
経讀祖師園帳○圓向院あて彼岸中加賀白山神彰釈迦佛舍利園帳唐
華泣虎画を掲る○三月中烈風吹焼き度く火災乃○四月朔日より圓向
院にて安房園那古寺坂本二十 二葉親世音園帳○四月六日より日馬成院院新葉
師園帳○四月より東の町内より常陸園茨城郡稲田山西念寺室物を掲げむ
○四月より下谷本法寺あて下徳年賀本寺白毫光取祖師園帳○市谷

八幡宮境内より強金持の園光院弘法大師八幡大菩薩園帳○六月東
叡山仁王門所再建成就○六月画工尾川龜出卒六十又白山中下名光寺 某凡 男七松茂といふ○六月
廿日俳人雨夜菴飛成卒牛馬 弘福寺末葬○七月下谷玉泉寺より佐波谷妙照寺
祖師園帳○十月谷中修性院の庭今年より園き每善遊観の所とある
發起高田氏庭他長命斗碑を去て左の瓦錢稿と
不二法くハ沙以のありしひろくを ○同十月十日儒師小出三山卒名光之 終養卒
陳川右馬場 ○十月廿三日曉八代洲河原より出火大風やうて法茂藩邸敷字
要詳も不詳
焼亡山下町加賀町惣十郎町尾張町辺出雲町金六町辺汐留本枕町三
十乃極仙臺英奥平度所藩邸迄同日たつ時之に築地武家方より出火して
為奉教の地内十日五寺南小田原町海子連焼亡○同日益前青山控田原
より出火して麻布田二本榎三田の邊まで焼亡○本々新町家は以迄追圍はし
く崩しゆのと鳴る菜蔬をさう不供りうらぐ町松に改り後への料理

兼屋を以て女を抱て母を奪て世々世人大根物とす以てあふせり

宝曆七年丁丑

三月朔日より芝林明宮境内より近江多賀大社遷帳○三月より上野
 清水親世普圓帳画之靈仙亦尚德上野清水寺之景法穿破の類を揚
 ○三月十日より辛日川に善光寺本寺跡地如來開帳本堂修葺今年成終
 せり○四月十五日より不忍寺より又遷帳○三月より菅谷現社地より武州より
 幡金剛寺火防不動尊長一丈遷帳○四月朔日より日向院より安房清浄寺跡
 満虚空藏并開帳○四月朔日より日向院より越後より田善導寺若守大
 師園光大師開帳○四月より淡路九品寺普履地藏寺開帳○永代より
 永東山金蓮寺深谷地蔵寺開帳○四月より五月迄霖雨冥冥洪水奥州
 肌腫之江戸の米價も亦亦登揚せり○七月園東中玉洪水○八月三日

谷中法住寺園泰了碩和尚寂○八月十日下谷坂本小野照修明林祭礼
 牛一練物不出後中修之○八月十四日宮儒土肥允仲卒名元成普廣洲
林津比那市谷
 小華次名聖寺○九月廿二日より深川八幡宮境内より大慈氏劫進徳興移○田村元
 旌旆より湯島小おいて物産會を催す聖軍又林田
小舎舎有り○真光稻荷社流石出て因樂
 茶屋投軒出来て整易す○十月廿日金胎工柳川直政卒六千○十一月廿八日
 儒師桃東園卒名道隆半島
弘福寺小華主○十二月廿六日淡路郡松町より出来て大
 火不及ふ所蔵の恙あり

同 八年戊寅

二月八日より木下川某師如來開帳○二月より獲園寺より上野出流山の
 子親世音宗帳○二月十五日日向院より常陸藤島本地主親世音開帳
 ○同寺より陸海若橋新善光寺跡地如來開帳○三月朔日より晦日迄

善福寺親鸞上人海上人像開帳 ○同日法華玉泉寺之相州星降天祥組師

開帳 星降妙徳也 ○武州大板大聖寺不動尊自坊之開帳者 ○八月令後札

親親以傳止あり ○八月十六日高田穴八幡宮祭礼出し給り物を出し其後朋和也

年近續く ○九月十六日駒込神明宮祭礼産子町より出し給り物を出し

平賀旭漢湯徳と物産の令を催し 月十二年 ○九月晦日法忍和尚駒込園文寺

小寂以 法州を号て会伝を述む師依の通儀跡一末九早の位職とあり其後高田寂せり其門上

人得阿弥院伝と号しをの碩徳之といふ宝曆六年三月六日より四月六日迄 ○秋白隠禪師源

川藤川よりあわいて講説あり諸公の大家都鄙の家賊日毎に群集し其徳

と作ぐ 後師へ東海居士の孫の人之明和五年十二月十日化寂あり八十は終といふ

月宿松落る其舊跡より神機揚妙禪師と謚し

寶曆十年庚辰

二月二日自惠祐天寺二並祐海上人處 名愚蒙 ○二月廿日夜八時未及

今井谷より失火しと麻布辺日産雜色十番燭坂三田寺町傳樂寺燬より

田町赤川海子不玉る ○同月六日戌刻神田旅籠町寺子同明石燈といふ足袋屋

より失火乾之風佐之間所辺へよみ及り淡草辺を本橋馬喰町本町日本橋江戸

橋辺靈巖島新川辺漆川へ飛洲橋本場の辺迄焼亡世三万堂焼死永代橋彩之

橋も焼る七日巳刻法火 ○同日芝村町若木存房の向湯屋より失火濱松町行門

前金板芝田町辺本芝海濱迄焼亡 ○三月十五日より四月六日まで六阿弥院

不砂開帳乃基并千五十年忌 ○市谷八幡宮甲申神像開帳 ○王子稻荷

社地より越後高田妻日山 謹信 ○三月廿日より圓向院より美濃

國稻園誕生寺園光大師開帳 ○梶町法方より徳列佐倉松林より千手觀

世吉開帳 ○四月より八月迄早天 ○四月廿八日英一峰卒 休川法録中 ○五月

二日書家後漢平震卒 本元所 ○九月十九日鳴島風脚卒 名信遍字瑞種孫於流

七十三卒本流より卒

...

...

○十月十日儒師福業迂舟卒 七十七歳名正養孫十五歳約也
亮光と福業子男と黙象といふ

宝曆十一年辛巳

正月廿五日圓光大師五百卒年忌○二月朔日より芳福町某師内にて信丹を

井郡金胎寺不動寺出山釈迦如來開帳○三月朔日より清原善五より甲

丹遠光寺日蓮上人像開帳○三月十二日より木下川某師如來本堂修復

如來と有開帳○四月十首より本処法恩寺にて系本寺と有釈迦佛像開帳

○四月朔日より回向院一言親表有開帳○同日より洲崎寺有丈天開帳

○四月八日より十七日迄新寺越念佛院中約娘忌廿又井邊佛養○四月春

山若老寺阿彌陀如來開帳○三田八幡宮開帳 綱分舎れとて
美室小物せり ○雲巖島開帳

梅津稻荷社某師如來開帳○四月八日より清原玉泉寺より下総國埴谷

法宣寺祖師開帳○清原唯念寺より下野國高田阿彌陀如來 若老と
一新分身 開帳

○青山 久保多と
町 高徳寺十面親世有開帳○千弦谷八幡宮より武井入万那山

口村東蓮寺 秀衡守と
市多 車還三尊弥勒如來開帳○四月十五日より相次江の島

岩登舟才天開帳江戸より系猪多○五月佛指師慶紀速卒 卒分谷中
童承と小善と

辞世 以年て始ておめよむるふ
殊院小向て中只けり ○六月金胎寺大津壽南卒 比十二才
孫公忠 ○八月十七日櫻

町中の芝居 標
座 上より火火櫻町葺屋町敷焼 中村勘三郎が芝居
善法中より不焼 ○九月三日官儒

中村蘭林卒 名明遠林深翁
谷中お林と小善 ○九月廿二日金胎寺新瀨宗意卒 六十
一才 ○十一月廿

七日儒師井上蘭堂卒 名通照林嘉膳
落合兼雲と善 ○十一月二日能人松本淡淡浪花小卒 八十
八才

○十一月廿八日親香上人五百年忌○日暮村長泉律院開創堂宇落成 三保
山翁

大僧正成善大玄和尚津去傳の寺成創せんと志願す入寂の後遺弟不如百計千重して川越

蓮教名を主教意上人力を勤せ終成就すその時任職善寂徳門和為徳の言えあり臨門師

業状記一巻 ○十二月廿日金胎寺稻川直光卒 林文也并
弟中野孝也中善

同 十二年壬午 四月閏

二月日卒南町と焼亡○四月より東本願寺より常陸國水戸縣船山郡
 入寺宝物と詳せしむ○八月より深川津より甲助小室妙法と祖師閣
 帳○八月より日向院より上總國水戸村給合名齒吹彌陀如来開帳○八月
 浅原西福寺慈母每戈天宝物開帳○麻布一本松大法寺大慈天修教大師の像二面開帳
 ○高福如来寺より多摩郡日永村一石山十一面觀世音開帳○高福寺
 申堂開帳○足立郡鴻巣安福寺日蓮上人牛込宗相寺より開帳○昨年
 山王洲祭礼延引今年六月既あり○七月より永代寺より成回不動尊并
 帳○伊豆子長慈母より越中兼光谷本法寺海中出現法花經紺地金泥大
 曼荼羅本持せしむ○谷中大杉寺より下総水戸野法蓮寺日蓮上人像開帳
 ○牛込國福寺より足州加殿妙國寺日蓮上人開帳○浅草新町宗安寺七
 重觀世音開帳○浅草極寺員佛所法院如来開帳○十月三日書家船田

耕山名雅通林甲四郎○十月龜戸龍眼寺小殖繁の冬子と安置於荏原郡
 清原清谷寺小立一像之

寶曆十三年癸未

二月十五日より龜戸龍眼寺殖繁聖徳太子開帳○二月より深川玄信寺
 阿弥院如来開帳○二月廿五日より二月廿六日迄龜戸天満宮社殿建立成就
 舟開帳○三月九日より押上大雲寺觀世音開帳○三月廿二日より日向院
 寺上列大同山聖徳太子開帳○四月廿八日より深川津より堀の内
 妙法寺祖師開帳○四月朔日より芝如來寺より河内靈井八幡宮開帳
 ○四月七日龍山町より出火救急堂格所門前延焼之○六月十音山谷獎
 田明神祭魂齋子所より出火救急堂格所門前延焼之○六月廿一日
 画家狩野祐清英信号如満高年七十五卒深川津より不詳○長崎より傳一と号し生年不詳